

# 映画「プリズン・サークル」 をみて性暴力を考えよう！

日時：11月3日（金・祝）13時30分～17時（開場13時）

会場：渋谷男女平等・ダイバーシティセンター〈アイリス〉

定員：30人（先着）

第1部 映画『プリズン・サークル』上映

第2部 アフタートーク「性暴力の加害・被害 傍観者にならないために」

登壇者 とうもと あいか  
東本 愛香さん 公認心理師



女性に対する暴力をなくす運動の期間（11月12日～11月25日）に先駆け、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんだイベントを実施します。

第1部で刑務所での更生プログラムを追ったドキュメンタリー映画を鑑賞します。第2部では、暴力を生む男性の加害者性やその背後にあるジェンダー規範・特権、そしてそれを助長する社会構造など、刑務所での対話の取組を交えつつ東本さんにお話しいただきます。

DV（ドメスティックバイオレス）、セクハラ、性暴力について、「加害者」「被害者」にとらわれず、誰しも無関係ではない身近な問題（＝自分事）として、参加者のみなさんと対話をしながら、一緒に考えてみませんか。

# プリズン・サークル 2019年 監督：坂上香

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC（Therapeutic Community=回復共同体）」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

## 【東本愛香さんプロフィール】

昭和女子大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。千葉大学社会精神保健教育研究センター／成城大学治療的司法研究センター所属。

東京医科歯科大学難治疾患研究所などを経て現職。これまで、刑事司法鑑定の鑑定助手を経験し、リスクアセスメントのトレーニングを受け、強みを生かす保護要因アセスメントツールのトレーナー資格を取得。長く、刑事施設・保護観察所の性犯罪を対象とする加害者臨床プログラムに関わるとともに、少年院では、個別面接だけでなく、マインドフルネスのワークを行っている。



(C)2019 Kaori Sakagami

【申し込み】 ※ 参加される際は、各自体調管理をお願いします。

受付期間 10/5（木）9:00～11/2（木）17:00 先着順

申込方法 ①電話 03-3464-3395  
②Web申請（Grafferスマート申請）

必要事項 氏名（ふりがな） 電話/e-mail 年代  
渋谷区との関係（在住・在勤・在学・その他）  
手話通訳の有無



〈Grafferスマート申請〉  
<https://ttzk.graffer.jp/ward-shibuya/smart-apply/apply-procedure-alias/iris-event/>



渋谷区男女平等・ダイバーシティセンター〈アイリス〉

東京都渋谷区桜丘町23-21  
渋谷区文化総合センター大和田8階  
☎: 03-3464-3395 FAX: 03-3464-3398  
HP  
<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/shisetsu/bunka/oowada/iris.html>

